

2021.12.1

お知らせ&お願い：12/18 第 28 回働学研（博論・本づくり）研究会

十名 直喜

師走に入り、心身とも何かとあわただしさを感じる季節になりました。如何お過ごしでしょうか。

12/18 第 28 回働学研のプログラムが整いましたので、お知らせします。

今回は、途中、発表の延期の申し出が 2 本ありました。いろいろとご多用のことと、お察しします。ということで、5 本の発表で行います。

「仕事と労働の過去・現在・未来」に、現役者&年金者さらに青・壮・老を含む多様な視点からアプローチします。

12/18 第 28 回 働学研プログラム

（司会：太田・濱・十名、画面：澤 & 発表・議論各 15～20 分：計 35 分/本）

仕事と労働の過去・現在・未来

—歴史・技術・思想的アプローチ—

堀 隆一：「日本の勤勉・勤労思想の経営学的研究 —神代から現代までの社会思想(1)」

十名直喜：「書評 堀隆一『日本の勤勉・勤労思想の系譜 —神代から現代までの社会思想』」 & 堀・十名「製鉄所での仕事・研究人生をめぐる対話」

片山勝己：「大規模製造業における工具調達効率化」

平松民平：「書評 桜井善行「シニアの生きがいとエイジングへの対抗」」

澤 稜介：「書評 十名直喜[2022.1]「サステナビリティの経営哲学 —渋沢栄一にみる日本資本主義の原点と 21 世紀課題」SBI 大学院大学紀要」

第 1 の堀発表は、加古川製鉄所で一緒に働いた仕事仲間で、ドイツ赴任、製鉄部長などを歴任された視点もふまえ、2 千年の視点から日本の勤労思想を問い直します。

第 2 の十名発表は、堀さんのご本を書評します。献本を機に 1 か月間にわたるメール対話（3 万字）をふまえ、生産現場から仕事・研究・人生を問い直します。

第 3 の片山発表は、自動車メーカーにおける工具調達の変遷と未来を、生産・営業・商社など多面的に深掘りしたもので、さらに興味深い発表となります。

第 4 の平松発表は、11/20 働学研での桜井さんの発表「シニアの生きがいとエイジングへの対抗」について、仕事と労働の視点から思想的に深め問い直します。

第 5 の澤発表は、正月明けに公刊される紀要論文（十名「サステナビリティの経営哲学」

再校) に対し、20 歳代の若い感性が鋭く熱く切り込むものです。

皆様のご参加の申し込みをお待ちしています。

ご参加の方は、十名 (tona@iris.eonet.ne.jp) までお知らせください。お大事に。

十名 直喜

<付記>

新春の 1/22 第 29 回働学研、そして 2 月以降についても、発表を受け付けています。